

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」富士宮校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 子どもの特性に合わせて3つの教室を使い分けている。必要に応じてパーティションを使用している。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | | | ○ | 児童発達支援管理責任者が不在。職員の人数が確保できない場合は、支援の質を保つため利用人数を調整している。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | 入口の段差改善必要。必要に応じて可能な限り改善に取り組んでいく。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 朝の時間や、職員間で共有できるPCツールを使用して都度ミーティングを行っている。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケート調査を実施。保護者様からのご意見等把握させていただき、今後の業務改善に努めていく。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページを開設し、評価及び対応について公表している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 本部と協議の上、第三者評価を行うか検討していく。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 定期的に内部研修の機会を設けている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | | ○ | | 自発管不在のため、正式な形として個別支援計画の作成が出来ない。 支援前後の時間で保護者様、本人と会話を行う機会を設け、都度ニーズや課題の把握、分析に努めており正式な形ではながいが個別支援計画を作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 標準化アセスメントツールとしてSDQを使用している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | チームで都度話し合いを行い、立案している。様々な意見を取り入れやすい環境になっている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 子どもの様子、興味、課題について都度検討し、場面に合わせて内容を変化させている。 |

| | | | | | |
|------------------------|---|--|---|---|---|
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | アセスメントをもとに、曜日や状況に合わせて取り組む内容を変えている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | | ○ | 基本個別での計画を作成。必要に応じて集団の組み合わせを検討し計画を作成する。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | 前回の様子を職員間で共有し、相談を行いながら支援内容について検討している。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | 毎日、個々で報告会を行い情報共有に努めている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | 毎回記録を残し、全体でいつでも情報共有・確認出来る状況になっている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | | ○ | 自発管不在のため、正式な形として作成が出来ない。定期的に保護者様、本人との話し合いをもとに正式な形ではないがモニタリングを作成、計画の見直しをしている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | | ○ | ガイドラインに沿って基本行っているが、地域支援等一部対応がほぼ出来ない箇所がある。事業所全体で対応できるよう改善に努める。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | 適切な者が参加できる場合もあるが、適切な者が対応できない場合もある。 毎回ふさわしい者が参加出来るよう事業所内の調整に努めていく。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | ○ | 当事業所の諸事情によりケース会議に出席出来る回数が減り、学校との直接のやりとりは少ないが、利用者様や保護者様へ確認しながら情報を得ている。保護者様からご要望頂いた際に毎回参加出来るよう事業所内調整に努めていく。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | 現医療ケアの必要な利用者様はおらず。必要なケースが出てきた場合は対応を検討する。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | 直接のかかわり、情報共有はない。保護者様や相談支援事業所からの聞き取り、書面でのやりとりを通して努めていく。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | 事業所で行ったこと、計画、モニタリングについて書面にし、保護者様を通して情報共有を行っている。移行会議あれば積極的に参加していきたい。 |

| | | | | | |
|------------|----|---|---|---|--|
| 連携 | ②⑤ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 児童発達支援センター等、必要に応じて助言を受けている。 |
| | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | コロナ禍で十分に行えていない。今後必要に応じて検討する。 |
| | ②⑦ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | 管理者他、必要に応じて指導員も参加している。開催あれば積極的な参加を検討している。 |
| | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 毎回支援後に保護者様とも話し合う時間を設け、共通理解に努めている。 また、相談支援として希望あればお話を伺いする機会を別途持っている。 |
| | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | 相談を受けた際は時間を設けて話し合いを行い、出来得る範囲での助言を行えるよう努めている。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約時、変更時には都度書面を使用して説明を行っている。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 職員同士でチームとして支援を行えるようにしている。相談ある際は出来得る範囲での助言、支援を行える環境を整えている。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | コロナ禍で十分に行えていない。イベントを通して実現出来るよう、運営に努めていく。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 苦情受付体制を整えるとともに、受付窓口を設定している。苦情を頂いた際にはチームで相談しながら対応を行う。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 発達支援研究所からの会報、必要に応じてラインやブログなどで情報発信を行っている。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 個人情報の含まれる書類等は鍵付きロッカーに保管し、取り扱いにも留意している。 |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 個々の特性に合わせた聞き方、話し方、情報伝達方法を用いている。 |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | コロナ禍で難しい場面があったため、今後イベントを通して実現出来るよう運営に努める。 |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | マニュアルを策定し、目につきやすい位置に置いてある。いつでも閲覧できる状態にしている。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 毎月1度様々な場面を想定し訓練を行っている。訓練後、職員間で意見交換を行っている。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | マニュアルを策定し、研修を行っている。また、外部研修を受けた際の情報共有も行っている。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 契約時に保護者様へ説明を行っている。身体拘束について、行う必要性が出てきた場合には、対応を検討していく。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | ○ | 食事の提供を行っていない。契約時にアレルギーの確認を行っている。 該当物質ある場合は配慮を行う。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | ヒヤリハットが起こった際には報告書を作成、今後の運営に活かすことが出来るよう職員同士で共有を行っている。 |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮 校

保護者等数（児童数）：56 回収数：40 割合：71%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|-----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 98 | 2 | | たくさん身体を動かして楽しんでいます。のびのび出来ています。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 90 | 10 | | 適切な人数の維持、専門性の向上を目指して参ります。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 70 | 30 | | →現在段差があるため必要に応じて、マンパワーや簡易的なスロープを付け対応していきたいと思います。 |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 100 | | | これからも継続して状態を把握し、ニーズの分析に努めていきたいと思います。 |
| | ⑤ | 活動プログラム [※] が固定化しないよう工夫されているか | 93 | 7 | | 子どもの事を第一に考えて活動を選択性にして頂いています。 →第一に考えることはもちろん、その時の様子に合わせ、臨機応変に対応していきたいと思います。 |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 33 | 47 | 20 | →コロナ等で開催していないため、今後検討していきたいと思います。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100 | | | 何か変更があった場合、その都度説明してもらっています。とても丁寧です。 →これからも丁寧な対応を心掛けていきたいと思います。 |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 100 | | | 相談、質問しやすい雰囲気の良いと思います。 →これからも話しやすい雰囲気の維持を心掛けたいと思います。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 86 | 12 | 2 | 前任の管理者は出来ていたと思うが、職員の減少等にやや不安を感じます。 →不安を与えることとなってしまう、大変申し訳ありません。十分なお時間が取れなかったことが多かったため、今後保護者様よりお話を伺いする機会を確保して参ります。改善に努めます。 |

| | | | | | | |
|---------|---|--|-----|----|----|---|
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 18 | 56 | 26 | →コロナにより開催していないため、今後検討して行きたいと思います。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 78 | 22 | | 迅速、適切に対応してもらっています。 →苦情であっても伝えやすい雰囲気作りを作り、今後も適切な対応を心掛けて参りたいと思います。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100 | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 64 | 34 | 2 | 前任者のときは更新があったが、現在は無い →継続的な更新を心掛けて参ります。ご指摘ありがとうございます。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 94 | 6 | | →鍵付きのロッカーに保管しつつ、外部に無断で情報が開示されないように今後も職員一同留意していきます。 |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 88 | 12 | | 再度保管場所について周知して行きたいと思います。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 50 | 48 | 2 | 月に1度防災訓練を行っています。こちらも保管場所ついて周知し、いつでも閲覧頂けるようにして参ります。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 86 | 10 | 4 | 毎週楽しみにしています。 気分にもうががありますが、帰りには頑張った良かったと変わっています。 私（母親）に行かされているという気持ちの方が強い。 →楽しみややりがいを感じられるように努めていきたいと思います。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 98 | 2 | | マンツーマンで中身の濃い時間を過ごせています。子どもに合った教材を作ってもらっています。 ほっと出来る場所で親子で癒されています。授業においていかれずにやっていくことができます。 前任の責任者はお世話になった。 →ありがとうございます。ご希望に添えることが出来ないこともあり大変申し訳ありませんでした。 これからも満足いただけるよう、スタッフ一同精進して行きたいと思います。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。